

浅博だより

2019.7



編集・発行：(公財) 長浜曳山文化協会 〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町14-8 TEL.0749-65-3300 FAX.0749-65-3440
【ホームページ】<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/> 【Facebook】<https://www.facebook.com/hikiyamabunka/>

《企画展》

曳山を彩る絵師たちⅣ

よこやま せい き

横山清暉

会期 二〇一九年七月十九日(金)～九月一日(日)
展示説明会 七月二十日(土) 午後一時三十分より

令和元年度最初の夏季企画展は、常磐山の舞台障子腰襖を作画した横山清暉(よこやませいき・一七九三～一八六五)の作品を展示する企画です。清暉は、平安四名家の一人に数えられ、幕末期の京都画壇を代表する四条派の画人で、当時の「名手」であり「著名人」であることは間違いありません。しかし生存中にはもちろん、没後の江戸時代末期から現在まで、描かれた作品を単独で取り上げたり、まとまった作品を紹介する展示は一切開催されておらず、清暉の展示解説図録・作品集等は皆無です。つまり今回の企画展が、史上初めての展覧会となります。

横山清暉の業績と、優れた画技・美しい作品群を再認識して頂ければ幸いです。

京にいた絵師たちの系譜 四条派(円山・四条派)
円山応挙 — 呉春 — 松村景文

松村玉文
横山清暉
長谷川玉峰
八木奇峰
北村李軒

横山清暉略歴

横山清暉(一七九三～一八六五)は、江戸時代後期に京都で活躍した四条派の絵師。
寛政五年(一七九三)、京都に生まれる。名は清暉・暉三といい、字は成文で、通称は主馬。詳介である。また霞城・吾岳・奇文と号した。始め江村春浦について画の手ほどきを受け、後に呉春、そして松村景文に師事した。厳しい修行に耐え、師の画格を受け継ぎ、山水人物花鳥画を得意とした。師匠譲りの筆法ははなはだ精鋭で構図に長じていた。幕末には、中島来章・岸連山・塩川文麟と共に、「平安四名家」と謳われました。慶応元年(一八六五)九月二日に、死去した。享年七三歳。法号は、蓮華院清輝日妙居士。墓は、京都市東山区安養寺と東山区仁王門通本妙寺にある。前者は、一周忌に建立したと推定される。弟子に、横山春暉・村瀬双石・岡嶋清曠などがいる。



紙本金地著色 菊白類鳥図 呉服町組常磐山蔵

伝承委員の活動について

伝承委員会は平成十二年の曳山博物館開館と同時に、長浜曳山祭を催行する山組関係者を中心に組織し、長浜曳山祭を保存・伝承する活動を行っています。活動の一つとして長浜市立西中学校一年生が長浜の歴史や「郷土愛」を育めるよう、曳山祭や関連する伝統工芸などの体験学習を行っています。

◆平成三十一年四月十六日(火)開催

《伝承委員支援》長浜市立西中学校総合学習「曳山生き物探し」

長浜市立西中学校総合学習では、当財団の伝承委員の方々が中心になって指導に協力しました。実際に曳山の装飾品に生き物が描かれたり、彫られたりした見学し、クイズ形式問題を解き学習していただきました。



「曳山生き物探し」

◆《伝承委員指導》長浜市立西中学校総合学習「蒔絵」生徒作品展示

昨年の伝統文化教室で生徒が制作した「蒔絵」の作品を、滋賀銀行長浜支店にて展示していただきました。《展示期間：五月十六日(木)～六月十四日(金)》

また、六月十七日(月)～二十八日(金)にかけて、長浜市役所本庁の市民サロンにて展示していただくことになりました。ぜひ、ご覧ください。



滋賀銀行長浜支店での展示の様子

学芸員実習 実施について

令和元年(二〇一九)八月に、一週間の予定で実施される博物館実習に係る調査を、長浜曳山祭の四月九日から十三日までの日程で行いました。

博物館実習とは、博物館の専門職である学芸員資格を取得する際に、実際の博物館で学芸員の仕事を体験する実習授業です。

令和元年度は、二名の実習生を受け入れる予定です。今回の曳山祭調査は、八月の実習事業に先立って、曳山祭を肌で体感してもらったために行いました。四月九日の厳粛な線香番と稽古、勇壮な裸参りを密着して写真撮影しました。

各行事は、博物館学芸員が懇切丁寧に解説し、見所を撮影見学しました。十二日の裸参りから深夜のお越し太鼓、翌早朝の御幣迎え・籤取り式の儀まで、息もつかせぬ行事の連続で感銘が深かったと思われます。

最後は本衣装を着用し化粧した子ども役者が、華麗な狂言(歌舞伎)を披露する十三日番で、調査を終えました。

今回の調査は、伊部町組翁山の全面的なご協力をいただきました。記して謝意に代えます。

実習生が撮影した写真(抜粋)



線香番(9日)



裸参り(9日)



公開稽古(10日)

今年度の曳山修理について

昨年度、曳山博物館修理ドックに收藏されていた北町組青海山は無事に修理を終え、曳山交替式が行われた四月六日に修理ドックを出て、曳山博物館展示室内の收藏庫に移動しました。現在、青海山は本館展示室にてご覧いただけます。

そして令和元年五月一日には、新たに大手町組壽山を山蔵から曳き出し、修理ドックに收藏いたしました。本年度、また来年度にかけて修理を行うにあたり、これから二年間、壽山を当館でお預かりすることになります。

今回の壽山修理では、曳山本体の一部を解体して木部、漆、銚金具の修理を行うことになっております。修理は、木部は橋本工務店さん、漆は渡邊美術工藝さん、銚金具は金泉堂さんにそれぞれ担当していただきます。これらの業者さんも長浜でご活躍され、曳山の修理にも数多く携わっておられる実績のある方々です。

修理の様子は曳山博物館二階の修理ドック観覧窓より見学が可能ですので、興味のある方はお越しください。屋根を取り外しての大きな修理になりますので、曳山の普段は目にすることができない部分を皆様に見ていただける機会にもなるかと思えます。



修理ドック観覧窓より



5月10日 壽山修理委員会



5月1日 「壽山」修理ドックへ收藏

三役修業塾定期発表会 開催のおしらせ

三役修業塾は長浜曳山祭の子ども歌舞伎にとつて欠くことのできない「振付」「太夫」「三味線」を地元で育成する組織です。定期発表会では、塾生の修業の成果を披露します。

【義太夫部門】七月二十一日(日)

「増補生写朝顔話宿屋の段」

「絵本太功記十段目 尼崎の段」

七月二十一日(日)は「義太夫部門」の発表です。義太夫部門の塾生は、垂井や米原の曳山祭にも出演するなど活躍の場を広げています。塾生の、日ごろの鍛錬の成果をどうぞご覧ください。

《義太夫指導》 豊澤千賀龍

豊澤賀 祝

【振付部門】八月二十五日(日)

「碁太平記白石噺 新吉原揚屋の場」

八月二十五日(日)は「振付部門」の発表です。今年の長浜曳山祭「翁山」でも上演された外題「碁太平記白石噺 新吉原揚屋の場」を実際に演じます。約一年ぶり、二度目の発表会です。

《振付指導》 岩井小紫

上演場所…曳山博物館伝承スタジオ
開演時間…午後二時より
参加費…入場無料・予約不要

定期発表会のようす



振付部門



義太夫部門



義太夫部門

◆変更案



例年、四月の第一土曜日に開催してきた「曳山交替式」。その開催が十月第二土曜日となる予定です。今年の交替式は既に四月に開催しましたが、今秋十月十二日(土)に二度目の交替式を開催します。詳細なことは今後順次告知をしますので、ぜひホームページやフェイスブックなどをご確認ください。

「曳山交替式」春から秋へ

長浜曳山祭パネル 巡回展の開催

第二回目の巡回パネル展示はイオン長浜店にて開催しました。パネルのほかに青海山の模型なども展示し、たくさんの方にご覧いただく機会となりました。

【展示期間】
三月二十二日(金)～五月八日(水)



年間観覧券のご案内

曳山博物館では、随時 年間観覧券の販売を行っています。ご購入から一年間、いつでも何度でもご入館いただけます。

- ◎個人券 一年間二、〇〇〇円 (ご本人のみ)
- ◎家族券 一年間三、〇〇〇円 (ご本人含めご家族五名様まで)
- ◎法人券 一年間一〇、〇〇〇円 (一回につき一〇名様まで)

★通常大人六〇〇円です。大変お得な券です。いつでも事務所にて販売しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。
(TEL 0749-65-3300)

展示等のお知らせ

令和二年(二〇二〇年)、長浜曳山祭の出番山が、ご覧いただけます。

4月22日(月)～6月30日(日)
曳山二基公開 (青海山・諫鼓山)

7月1日(月)～9月
曳山二基公開 (月宮殿・春日山)

企画展
7月19日(金)～9月1日(日)
企画展 曳山を彩る絵師たち「横山 清暉」

山組 マンスリー
7月 翁山
8月 鳳凰山
9月 高砂山

山組マンスリーとは、1か月ごとに、各山組が担当して、博物館を活用し、来館者に長浜曳山祭や曳山の魅力についてを独自の視点から紹介・PRしていただく企画です。



NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM
曳山博物館
ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKUBTSUKAN Ave.
発行日：令和元年 6月26日

